

An aerial photograph of a valley in Mie Prefecture, Japan. The foreground shows a dense forest of green trees. The middle ground features a winding river flowing through a valley with green fields and small settlements. In the background, there are rolling hills and mountains under a clear blue sky.

わかりやすい予算書

～令和5年度の主な事業～

宮崎県えびの市

発刊にあたり

市民の皆さまには、日頃からえびの市のまちづくりにご支援とご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年度、えびの市は新型コロナウイルス感染症拡大や物価高騰に起因して発生する新たな局面や課題に対して、迅速かつきめ細やかな独自施策を実施してきました。しかし、感染症、世界情勢ともに先行きが不透明であり、予断を許さない状況が続くと見込まれます。

こういった状況の中、令和5年度当初予算は、市民生活・地域経済の回復を図ると同時に、従来からの課題である人口減少・少子高齢化、地域活性化等に対応するためにも、実効性を持たせた、「第6次えびの市総合計画」（以下「総合計画」）の基本目標の実現につながる予算編成を行いました。

まちづくりの主役は市民であることを基本に、市民・事業者・行政がそれぞれの責任と役割を果たし、相互の連携・協働をより一層進め、「総合計画」及び第2期の「えびの市まち・ひと・しごと創生総合戦略」による施策を着実に展開し、引き続き地方創生の取り組みを進めてまいります。

本市の財政状況は健全な状況にありますが、特に2022年から団塊の世代が後期高齢者に入り始めたこともあり、今後、社会保障関係費の自然増が予測され、さらに市民生活・地域経済の回復、人口減少等の課題への対応も求められることから、厳しいものとなります。これらの課題に対応し、将来にわたり持続可能な財政運営を行っていくために、歳入においては、国、県の情報収集を行い、補助金の積極的な確保に努めるとともに、歳出においては、漫然とこれまでの事業を継続することなく、事業の成果を具体的に把握して、最少の経費で最大の効果が得られるよう、「選択と集中」による予算としています。

市民の皆さまには、本書をご覧いただき、今後ともえびの市のまちづくりに積極的にご参加くださいますよう、お願い申し上げます。

えびの市長 村岡 隆 明

わかりやすい予算書の構成と見方

この予算書の構成は、現在えびの市で進行中の第6次総合計画（令和4年度～令和11年度）で掲げている「基本目標」とそれを実行するための「基本施策」に沿って、関連する主な事業※の予算について説明しています。

左図は第6次総合計画概要版より一部抜粋しています。
第6次総合計画の詳細はこちら→ QRコード

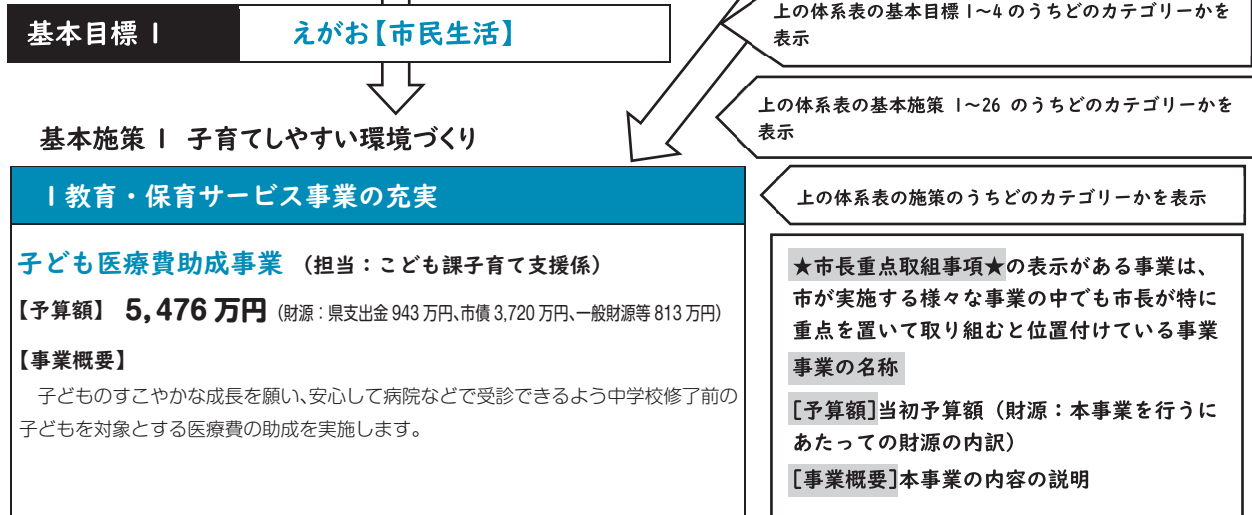


[全体の構成]

施策体系表 第6次えびの市総合計画 前期基本計画

将来像	具体像	基本目標	基本施策	施策
えびの市 「えびの市」の 「えびの市」の 「えびの市」の	南九州の 交流拠点都市	基本目標1 えがお 【市民生活】	1. 子育てしやすい環境づくり 2. 健康でいきいきと暮らせるまちづくり 3. 介護サービスの充実と介護予防の推進 4. 地域福祉の充実 5. 市立病院の充実 6. 人と環境にやさしい施策の推進	●教育・保育サービス事業の充実 ●母子保健対策の充実 ●要介護児童対策の推進 ●健康づくりの推進 ●安心して受けられる医療の推進 ●地域医療体制の充実 ●介護人材確保の推進 ●地域包括ケアシステムの深化・推進 ●障がい者福祉 ●高齢者福祉 ●低所得者福祉 ●包括的な対応 ●医師確保対策 ●市立病院の診療及び救急体制の充実 ●市立病院の機能強化 ●安心な生活環境 ●生活排水の適切な処理 ●自然環境の保全と活用 ●循環型社会の実現
		基本目標2 まじわり 【産業・インフラ】	7. 観光商工業の活性化 8. 企業立地の推進 9. 農業・畜産業の活性化 10. 農地利用の最適化 11. 農林業基盤維持・整備の推進 12. 道路ネットワークの整備及び道路施設・河川の適切な維持管理 13. 安全で安心な水道水の安定供給	●商工業 ●起業支援 ●小規模事業者支援 ●観光資源の魅力化 ●アウトドアインフラの確立 ●観光施設の整備 ●企業立地の推進 ●雇用の創出 ●立地企業への支援 ●業務サポート機能を有する新たな体制の構築 ●持続可能な畜産経営の強化 ●意欲ある農産・畜産経営体の生産基盤強化 ●AIを活用したスマート生産基盤の強化 ●次世代に引き継ぐ中山間地域農業の活性化 ●魅力ある新たな商品開発へチャレンジ ●農地利用の最適化 ●畑かん事業の推進 ●基盤整備事業の推進 ●多面的機能支払交付金事業の推進 ●林業活性化 ●幹線道路の整備 ●生活道路の整備 ●道路の保全・維持管理 ●橋梁の維持管理 ●河川の維持管理 ●良好な景観の形成 ●持続可能な水道事業の経営基盤の維持 ●水道施設及び管路の計画的な更新
		基本目標3 つづける 【教育】	14. 学校教育の充実 15. 生涯にわたる学びの支援と文化・スポーツの振興	●少人数学級事業等きめ細かな教育の推進 ●幼保・小・中・高一貫教育の更なる推進 ●教育環境の維持・充実 ●安全でおいしい学校給食の提供 ●社会教育・体育施設の適正管理 ●生涯学習・青少年健全育成の推進 ●芸術文化の振興と文化財の保護と活用 ●スポーツの振興
		基本目標4 まち 【市民協働・行政経営】	16. 市民協働によるまちづくりの推進 17. 安心安全の確保 18. 市有財産の有効活用 19. 市に関する総合的な企画立案 20. 市役所内外の公正・適正維持 21. 選挙の適正管理 22. 効率・効果的な財政運営 23. 税収確保の推進 24. 公金の適正な管理 25. 市役所の活動の正確性・妥当性のチェック 26. 市議会の適正運営	●市民協働の推進 ●防犯との共存 ●交通安全対策の推進 ●防犯対策の推進 ●地域防災力の向上 ●災害予防対策の推進 ●消防力の確保 ●市有財産の管理・有効活用 ●市営住宅の適切な管理 ●計画進捗の管理 ●公共交通の維持・確保 ●移住・定住の推進 ●デジタル環境の整備 ●行政改革の推進 ●人権意識の高揚 ●人材に関する相談・支援体制の充実 ●男女共同参画の推進 ●職員育成 ●選挙執行 ●中期見通しの作成 ●財政状況の公表 ●納期限内納付の推進 ●滞納整理の推進 ●事務処理知識の向上 ●効率的な資金運用 ●定期監査・決算審査等 ●市民に開かれた議会運営

[各事業の説明] (記載例)



※関連する主な事業について

「わかりやすい予算書」は、令和5年度に市が行う予定の事業のうちの一部を抽出して掲載しています。予算の全体を確認されたい人、また本予算書に載っていない事業について確認されたい人は、市役所（出張所含む）市民室にある予算書を閲覧いただくか、直接担当課へお問い合わせください。

目次

えびの市の今年度の当初予算 1 ページ

えびの市の今年度の当初予算の状況です。

えびの市の今年度の主な予算

1 “えがお” 【市民生活】 4 ページ

健康・医療・福祉・子育てなど市民生活を支えるサービスを充実させることで、市民の皆様
の「えがお」をつくるための予算です。

2 “まじわり” 【産業・インフラ】 7 ページ

本市の魅力を生かした農業や観光などの産業振興や道路などのインフラの整備などにより、
交流拠点都市として、多様な人々が「まじわる」ことのできるまちづくりのための予算です。

3 “つづける” 【教育】 13 ページ

将来にわたり、本市の魅力が輝き「つづける」ため、本市の次世代を担う子どもたちや市民
が生涯にわたって学んだり、スポーツに親しんだりできる環境を整えるための予算です。

4 “まち” 【市民協働・行政経営】 16 ページ

本市が、みんなが安心して暮らし、将来にわたって持続可能な「まち」となるよう、行政と市
民が一体となって、「まち」づくりを行うとともに、行政運営を高度化するための予算です。

えびの市の財政をデータで見ると 20 ページ

これまでの10年間で、えびの市に入ったお金や支払ったお金を性質ごとにグラフにしました。
また、借りているお金の残高と、毎年の返済額をまとめました。

令和5年度 一般会計当初予算 141億2,200万円

当初予算編成の基本方針

「第6次総合計画」に基づいて、「えがおが交わり続けるまち」を目指し、また感染症拡大防止や感染症・物価高騰の影響を受ける人への対策及び市民生活・地域経済の回復を念頭に、最小の経費で最大の効果が得られるような施策を考え、当初予算を編成しました。

当初予算会計別状況

会計名		令和5年度	令和4年度	増減額（増減率）		
一般会計		141億2,200万円	140億5,735万円	6,465万円	(0.5%)	
特別会計	国民健康保険特別会計	30億6,044万円	30億5,089万円	955万円	(0.3%)	
	後期高齢者医療特別会計	6億8,289万円	6億4,148万円	4,141万円	(6.5%)	
	介護保険特別会計	34億1,491万円	34億914万円	577万円	(0.2%)	
	産業団地整備事業特別会計	3,529万円	3,625万円	▲96万円	(▲2.7%)	
企業会計	水道事業会計	収益的支出	3億9,123万円	4億238万円	▲1,115万円	(▲2.8%)
		資本的支出	2億5,025万円	2億8,495万円	▲3,470万円	(▲12.2%)
	病院事業会計	収益的支出	10億3,701万円	10億2,231万円	1,470万円	(1.4%)
		資本的支出	2億2,340万円	3,557万円	18,783万円	(528.1%)

※ 万円未満の端数は四捨五入しています。

一般会計とは



市税や地方交付税などを主な財源として、福祉や教育、道路の整備など、さまざまな分野の仕事を行うための会計で、多くの事業やサービスは、この一般会計で行っています。

特別会計とは



国民健康保険や介護保険のように、保険税などの特定の収入により特定の事業を行うため、一般会計と区分するために設けられている会計です。

企業会計とは



地方公営企業法の適用を受けて、地方公共団体が経営する水道や病院事業のように、その事業収入により経営を行うために設けられている会計です。

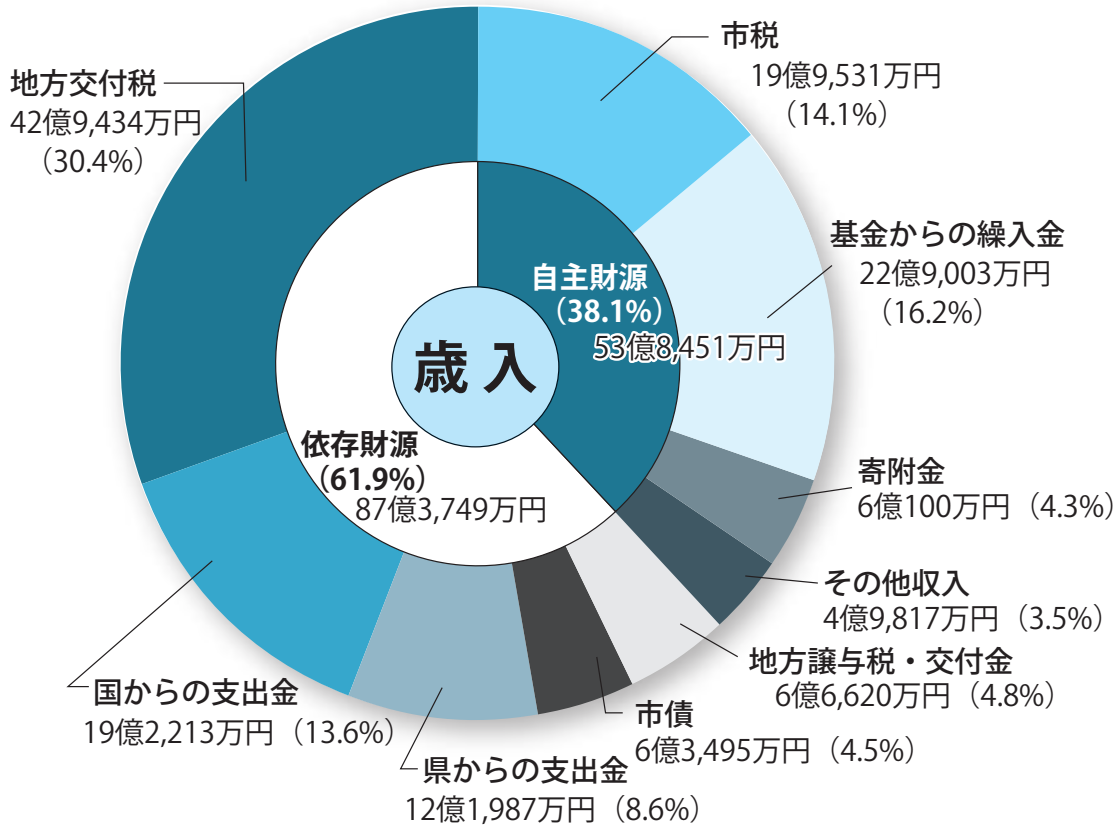
令和5年度 えびの市一般会計予算

総額 141億2,200万円

(対前年度当初予算比 0.5%増)

歳入

※カッコ内の数字は、構成比



歳入予算のポイント

- 「自主財源」については、前年度と比較して約3億8,846万円増加しています。これは、繰入金(財政調整基金等)の増を見込んでいることなどによるものです。
- 「依存財源」については、前年度と比較して約3億2,381万円減少しています。これは、地方交付税及び国庫支出金の減を見込んでいることなどによるものです。

自主財源 53億8,451万円 38.1%

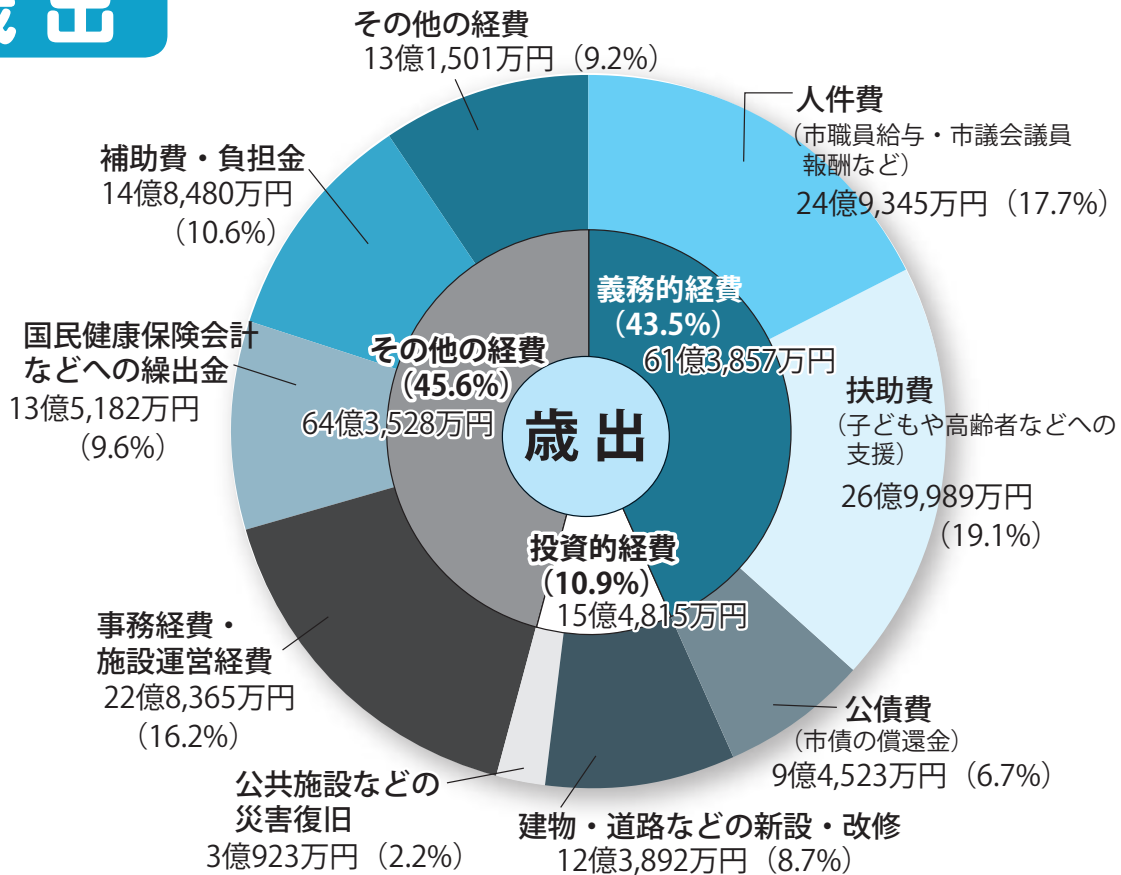
- ・市が自主的に収入できる財源のことです。
- ・市への税金、分担金・負担金、使用料・手数料、基金繰入金などがあります。
- ・多いほど財政が安定し、自主的な事業をより多く行うことができます。

依存財源 87億3,749万円 61.9%

- ・国や県から交付されたり、割り当てられたりする財源のことです。
- ・地方交付税、国・県からの支出金、市債などがあります。

歳出

※カッコ内の数字は、構成比



歳出予算のポイント

- 「義務的経費」については、人口減少に起因して、保育所運営費や障がい福祉サービス事業費等の減などにより、前年度と比較して1億787万円減少しています。
- 「投資的経費」については、永山運動公園整備事業費及び文化センター改修事業費の減などにより、前年度と比較して1億3,372万円減少しています。
- 「その他の経費」については、市立病院の電子カルテ導入に伴う出資金の増、新型コロナウイルスワクチン接種事業費及び全国的な原油高騰に伴う光熱水費の増などにより、前年度と比較して3億624万円増加しています。

義務的経費 61億3,857万円 43.5%

- ・支出が義務づけられていて任意に削減できない費用のことです。
- ・人件費、扶助費（子どもや高齢者などへの支援）、公債費（市債の償還金）のことです。
- ・義務的経費の割合が多いほど、財政構造が硬直化し、自主的な事業が制限されます。

投資的経費 15億4,815万円 10.9%

- ・道路や公園などの公共施設整備にかかる費用のことです。
- ・主な事業は、八幡丘公園整備事業、過疎対策事業（市単独道路改良事業）などです。

その他の経費 64億3,528万円 45.6%

- ・繰出金は国民健康保険、後期高齢者医療特別会計などへ繰り出すものです。
- ・その他の経費には、積立金、投資・出資・貸付金、公共施設の維持補修などがあります。

基本施策 1 子育てしやすい環境づくり**1 教育・保育サービス事業の充実****子ども医療費助成事業**（担当：こども課子育て支援係）【予算額】 **5,476 万円**（財源：県支出金 943 万円、市債 3,720 万円、一般財源等 813 万円）

【事業概要】

子どもの健やかな成長を願い、安心して病院などで受診できるよう中学校修了前の子どもを対象とする医療費の助成を実施します。

保育料及び副食費無料化事業（担当：こども課子育て支援係）【予算額】 **1,134 万円**（財源：一般財源等 1,134 万円）

【事業概要】

多子世帯を支援するため、国の保育料及び副食費免除基準を拡大し、第3子以降の子どもの保育料及び副食費の無料化を実施します。

市長重点取組事項**地域子育て支援拠点事業**（担当：こども課こども相談係）【予算額】 **853 万円**（財源：国支出金 279 万円、県支出金 279 万円、
一般財源等 295 万円）

【事業概要】

なかよし認定こども園敷地内に併設されている地域子育て支援センターを拠点に、センターでの活動だけでなく、地域に向いて子育て家庭の交流を深める行事の実施や育児相談を行うなど、家庭で子育てされる保護者をサポートします。

**2 母子保健対策の充実****妊産婦支援事業**（担当：こども課こども相談係）【予算額】 **400 万円**（財源：一般財源等 400 万円）

【事業概要】

市内の医療機関で分娩が出来なくなったことを受けて、市外で出産をする人に対し、安心して出産を迎えることのできる環境を整えるため、妊産婦支援助成金を支給します。

不妊治療支援事業（担当：こども課こども相談係）【予算額】 **220 万円**（財源：一般財源等 220 万円）

【事業概要】

不妊による精神的及び経済的な負担の軽減を図るため、不妊治療（保険適用となる一般不妊治療または生殖補助医療）を受けた夫婦に対し、治療費の一部を助成します。

出産・子育て応援事業（担当：こども課こども相談係）

【予算額】 **810 万円**（財源：国支出金 540 万円、県支出金 135 万円、一般財源等 135 万円）

【事業概要】

伴走型相談支援と経済的支援を一体的に実施します。妊娠届出後及び出生届出後に面談を実施し、経済的支援として出産応援ギフト及び子育て応援ギフトを支給します。

基本施策2 健康でいきいきと暮らせるまちづくり

1 健康づくりの推進

市長重点取組事項

スマートウエルネスシティ推進事業

（担当：健康保険課市民健康係）

【予算額】 **59 万円**（財源：一般財源等 59 万円）

【事業概要】

全ての市民が生涯にわたって健幸＝健康で幸せ（身体面の健康だけでなく、人々が生きがいを感じ、安心安全で豊かな生活を送れること）に暮らせるまちづくりを推進するため、「スマートウエルネスシティ構想」の実現に向けた基本計画を策定します。



健康増進事業（担当：健康保険課市民健康係）

【予算額】 **2,706 万円**（財源：国支出金 96 万円、県支出金 63 万円、一般財源等 2,547 万円）

【事業概要】

市民の健康増進、健康寿命の延伸を図るため、疾病の早期発見・早期治療の要となる集団検診、各種がん検診及び歯周病検診を実施します。

また、脳ドックの受診を希望する人へ、脳ドック費用の一部を補助します。

2 安心して受けられる医療の推進

特定健康診査等事業（担当：健康保険課医療保険係）

【予算額】 **3,488 万円**（財源：県支出金 2,266 万円、その他 1,222 万円）

【事業概要】

40歳以上74歳以下の国民健康保険被保険者を対象に、健康増進、健康寿命の延伸を図るため、疾病の早期発見・早期治療の要となる特定健康診査を実施します。

3 地域医療体制の充実

地域医療対策事業（担当：健康保険課市民健康係）

【予算額】 **386 万円**（財源：一般財源等 386 万円）

【事業概要】

地域医療を守ることを目的に、医師会、歯科医師会及び看護師養成学校へ助成を行います。

また、市内の医療機関等に就職する看護師を対象に、就職支援のため支度金の支給と奨学金の返還に対し助成を行います。

基本施策3 介護サービスの充実と介護予防の推進

1 介護人材確保の推進

介護人材確保推進事業（担当：介護保険課介護保険係）

【予算額】 **167万円**（財源：一般財源等 167万円）

【事業概要】

市内の介護事業所に就職または内定した介護福祉士に対し、奨学金返還の一部助成や就職準備のため支度金を支給します。また、介護職員初任者研修受講料を全額助成します。

2 地域包括ケアシステムの深化・推進

認知症総合支援事業（介護保険特別会計）（担当：介護保険課地域包括支援センター）

【予算額】 **374万円**（財源：国支出金 144万円、県支出金 72万円、その他 158万円）

【事業概要】

認知症に関する正しい理解や予防などの普及啓発を行い、認知症本人やその家族の人が相談できるオレンジカフェやオレンジトーク、また認知症サポーター養成講座を開催します。

基本施策4 地域福祉の充実

1 障がい者福祉

障害福祉サービス事業（担当：福祉課障がい福祉係）

【予算額】 **5億2,084万円**

（財源：国支出金 2億6,042万円、県支出金 1億3,021万円、一般財源等 1億3,021万円）

【事業概要】

障がいのある人が地域で安心して生活が送れるよう、居宅介護、生活介護、共同生活援助などの総合的なサービスを提供するものです。

手話奉仕員等派遣事業（担当：福祉課障がい福祉係）

【予算額】 **68万円**（財源：国支出金 34万円、県支出金 17万円、一般財源等 17万円）

【事業概要】

聴覚、言語機能に障がいがある人が情報を取得するための支援や、より円滑にコミュニケーションが行えるよう支援を行い、障がいのある人の自立と社会参加の促進を図ります。また、手話講座等により、手話と親しみ学ぶ機会を提供します。

障がい者福祉タクシー料金助成事業（担当：福祉課障がい福祉係）

【予算額】 **70万円**（財源：一般財源等 70万円）

【事業概要】

重度の障がいがある人で、自ら運転できず、同世帯員にも車両を保有する人がおらず、住民税所得割が課税されていない人にタクシー料金の基本料金を助成するものです。（利用券は、対象者1人に対し年間最大48枚まで発行）

※世帯員の中に車両の保有者がいても、1週間のうち5日以上就労している場合は対象になります。

2 高齢者福祉

福祉タクシー料金助成事業（担当：福祉課地域福祉係）

【予算額】 **1,288 万円**（財源：一般財源等 1,288 万円）

【事業概要】

満 75 歳以上の人で、自ら運転できず、同世帯員にも車両を保有する人がおらず、住民税所得割が課税されていない人にタクシー料金の基本料金を助成するものです。（利用券は、対象者 1 人に対し年間最大 4 8 枚まで発行）

4 包括的な対応

市長重点取組事項

重層的支援体制整備移行準備事業（担当：福祉課地域福祉係）

【予算額】 **696 万円**（財源：国支出金 522 万円、一般財源等 174 万円）

【事業概要】

複雑化・複合化した課題に対して、介護、障がい、子ども、生活困窮の支援関係機関等による包括的な支援体制を構築できるように多機関協働事業を委託し、重層的支援体制整備事業に取り組みます。



基本施策 5 市立病院の充実

3 市立病院の機能強化

【病院事業会計】 医療 ICT 化整備事業（担当：市立病院経営管理係）

【予算額】 **2 億 1,670 万円**（財源：自己財源 2 億 1,670 万円）

【事業概要】

電子カルテを導入し、院内の待ち時間の削減や診察内容のわかりやすい説明など患者様の負担軽減や利便性を向上させ、また、診療業務の効率化を図るものです。

基本目標 2

まじわり【産業・インフラ】

基本施策 7 観光商工業の活性化

1 商工業

地方版ハローワーク事業（担当：観光商工課商工係）

【予算額】 **241 万円**（財源：一般財源等 241 万円）

【事業概要】

市役所内に「無料職業紹介所」を設置し、求人情報の提供と就職支援員による就労相談業務や各関係機関との連携を図りながら、効果的な人材確保対策を行います。

市長重点取組事項

特産品ブランド認証事業（担当：観光商工課商工係）

【予算額】139万円（財源：一般財源等139万円）

【事業概要】

市内の優れた特産品等（加工食品及び民工芸品）を「えびのブランド」として認証し市内外に広く情報発信し、特産品を通じた本市イメージのブランド化を図ります。また、認証事業者が自ら行い販路開拓等の取り組みに対し支援を行います。



2 起業者支援

市長重点取組事項

起業家支援事業（担当：観光商工課商工係）

【予算額】1,241万円（財源：一般財源等1,241万円）

【事業概要】

起業をしようとする個人等が、起業支援センターを拠点として専門的な支援を受けながら、経営、技術、資金等の課題解決を図り、市内での事業化につなげます。また、後継者のいない事業者の第三者承継に対し支援を行います。



3 小規模事業者支援

市長重点取組事項

小規模事業者持続化支援事業（担当：観光商工課商工係）

【予算額】1,000万円（財源：一般財源等1,000万円）

【事業概要】

小規模事業者の事業継続・安定を図られると認められる経費（店舗等の改修・改築、設備等の改修や購入及び販路拡大に要する経費）の一部を補助し、市内の小規模事業者への支援を行います。



5 アウトドアシティの確立

市長重点取組事項

アウトドアシティ推進事業（担当：観光商工課観光係）

【予算額】1,379万円（財源：一般財源等1,379万円）

【事業概要】

えびの市アウトドアビジターセンターを拠点に、本市の豊かな自然を活かしたアウトドア体験等を普及拡大させ、アウトドア観光の定着を図ります。



市長重点取組事項

サイクリング事業（担当：観光商工課観光係）

【予算額】 **2,015 万円**

（財源：県支出金 340 万円、一般財源等 1,675 万円）

【事業概要】

自転車通行空間確保のため、アウトドアビジターセンターから真幸駅ルートと、矢岳高原ルート
の約 12 km の範囲に矢羽根型路面表示等を設置します。自転車通行空間の環境整備を行うことで、
新しい観光資源の開発・儲かる観光の推進に繋がります。



基本施策 8 企業立地の推進

1 企業立地の推進

市長重点取組事項

企業立地対策事業（担当：企業立地課立地推進係）

【予算額】 **2,680 万円**（財源：一般財源等 2,680 万円）

【事業概要】

働く場を確保し、市外への人口流出抑制や労働者の移住・定住を促進するため、本市への企業立
地を進めます。また、指定企業に助成金を交付することで、企業の円滑な立地操業につなげます。



基本施策 9 農業・畜産業の活性化

1 産地サポート機能を有する新たな体制の構築

市長重点取組事項

スマート農業推進事業（担当：畜産農政課担い手対策係）

【予算額】 **910 万円**（財源：一般財源等 910 万円）

【事業概要】

担い手の減少や高齢化等による労働力不足、生産管理の不十分さ、異常
気象などの課題を解決するためには、人工知能（AI）やIoT、ロボッ
ト技術などのスマート農業を活用していく必要があるため、これらの先端
技術を導入する経営体に対して事業費を補助します。

【補助対象】 市内で農業経営を行う認定農業者、認定新規就農者など

【補助内容】 先端技術を活用した市内で先駆的な取組により、農業経営規模
拡大や効率化の達成に必要な機械等の導入に係る経費

【補助率】 事業費の 1/2 または 130 万円のいずれか低い額



市長重点取組事項

新規就農総合支援事業（担当：畜産農政課担い手対策係）

【予算額】 3,752 万円

（財源：県支出金 1,950 万円、一般財源等 1,802 万円）

【事業概要】

農業従事者の高齢化や後継者問題等により、担い手不足が深刻化する中、農業の次世代を担う新規就農者を確保・育成します。

【農業後継者規模拡大支援事業】

新たに就農する意欲ある農業後継者に対して、規模拡大に必要な取組を支援します。

〔補助額〕事業費×補助率 1/2（上限 400 万円）

【新規就農者育成総合対策・経営発展支援事業】

新たに農業経営を開始または継承する新規就農者に対して、就農後の経営発展に向けた機械・施設等の導入を支援します。〔補助額〕上限 750 万円（経営開始資金併用者は上限 375 万円）

【新規就農者育成総合対策・経営開始資金】

新たに農業経営を開始または継承する新規就農者に対して、経営の不安定な就農初期段階を支援します。〔支援額〕12.5 万円/月（150 万円/年）



2 持続可能な畜産経営の強化

宮崎牛消費推進事業（担当：畜産農政課畜産振興室）

【予算額】 583 万円（財源：一般財源等 583 万円）

【事業概要】

第 12 回全国和牛能力共進会において史上初の 4 大会連続内閣総理大臣賞を獲得したえびの産宮崎牛の消費拡大と PR を図ります。（学校給食への提供及び宮崎牛フェアの開催）

3 意欲ある農産・園芸経営体の生産基盤強化

農業経営収入保険支援事業（担当：畜産農政課農産園芸係）

【予算額】 354 万円（財源：一般財源等 354 万円）

【事業概要】

収入保険の加入を促進し、農業者の経営安定及び本市の農業振興を図るため、収入保険に加入（新規・継続）する人に対して掛金の一部を助成します。

【補助額】掛捨ての「保険方式」に関わる保険料の自己負担分の 1/2 以内または上限 50,000 円

生分解性マルチ利用促進対策事業（担当：畜産農政課農産園芸係）

【予算額】 525 万円（財源：一般財源等 525 万円）

【事業概要】

微生物の働きで水と二酸化炭素に分解され、労力軽減にもつなげる生分解性マルチの利用に対し、購入費の一部を助成します。

【補助率】 10a あたり 17,500 円以内

ハウスの新設及び中古ハウスの移設費支援事業 (担当：畜産農政課農産園芸係)

【予算額】 **900 万円** (財源：一般財源等 900 万円)

【事業概要】

園芸ハウスの新設及び中古ハウスの移転等による面積拡大を目指す園芸農家に対して、購入費の一部を助成します。

【補助率】 1/3 以内

基本施策 1 1 農林業基盤維持・整備の推進

1 畑かん事業の推進 2 基盤整備事業の推進

畑地帯総合整備事業負担金 / ほ場整備事業負担金

(担当：農林整備課畑かん推進室・基盤整備対策室)

【予算額】 **1 億 7,163 万円** (財源：市債 8,860、一般財源等 8,303 万円)

【事業概要】

県営畑地帯総合整備事業 (白鳥 1・2 期、大河平 1・2・3・4 期、芋畑 1・2・3 期、田代・出水 1・2 期) 及び県営ほ場整備事業 (東原田、飯野麓東部、上大河平) 実施に伴う事業費の一部を負担します。

4 林業活性化

森林環境譲与税使途事業 (担当：農林整備課林務係)

【予算額】 **4,369 万円** (財源：一般財源等 4,369 万円)

【事業概要】

森林環境譲与税を活用して間伐や人材育成、担い手確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に関する事業を行うものです。

また、毎年、区域を決めて意向調査を行い適切な管理が難しい森林については、市と森林組合・林業事業体と協議して適切な森林へ整備するとともに再生林や下刈等の経費を支援します。

基本施策 1 2 道路ネットワークの整備及び道路施設・河川の適切な維持管理

1 幹線道路の整備

社会資本整備総合交付金事業 (えびの中央線 (池島工区)) (担当：建設課建設係)

【予算額】 **1,626 万円** (財源：国支出金 808 万円、市債 720 万円、一般財源等 98 万円)

【事業概要】

えびの中央線はえびの市の東西を結ぶ都市計画道路の一部であり、えびの中央線 (池島工区) は、現在までに完了している東部地区と中部地区を結ぶ工区である。バイパスとして整備することで、国道道における朝夕の通行混雑を緩和し、地元車両の安全な通行と、地域の利便性の向上を図ります。

2 生活道路の整備

過疎対策事業（担当：建設課建設係）

【予算額】 **2億 1,534万円**（財源：市債 2億 380万円、一般財源等 1,154万円）

【事業概要】

過疎地域持続的発展計画に基づき、市道整備を行い、市民の交通の安全性・利便性等の向上を図ります。

【対象路線】

徳満線、永山灰塚 1 号線、西川北徳満 2 号線、後川内芋畑線、岡元椿堀線、下西ノ原 3 号線、大迫霧島線、上浦池之原線、王子原中通線、浜川原尾八重野線、坊ヶ島耕地 4 号線 11 路線

社会資本整備総合交付金事業（栗下上江線）（担当：建設課建設係）

【予算額】 **2,590万円**（財源：国支出金 1,471万円、市債 970万円、一般財源等 149万円）

【事業概要】

栗下上江線は市内の東部地区と中部地区の主要な拠点を結ぶ通勤道路となっている。朝夕の時間帯は交通量が多く通学する児童及び生徒を守るために、現道に歩道の整備を行い、歩行者と自動車交通の分離を行います。

霧島演習場調整交付金事業（担当：建設課建設係）

【予算額】 **3,803万円**（財源：国支出金 3,000万円、市債 680万円、一般財源等 123万円）

【事業概要】

西長江浦演習場線は、西長江浦上地区内、岡元椿堀線は、岡元地区を連絡する生活道路ではあるが、幅員が狭くカーブ箇所も多いことから離合困難で通行に支障をきたしている状況である。道路拡幅改良工事を実施することにより、地域住民の通行の安全性・利便性等の向上を図ります。

3 道路の保全・維持管理

道路維持事業（担当：建設課維持係）

【予算額】 **1億 591万円**（財源：一般財源等 1億 591万円）

【事業概要】

老朽化した側溝の補修や蓋設置による離合箇所の設置、舗装修繕工事などを実施することにより、道路の機能を保持し、市民の安心・安全な道路環境を整備します。

4 橋梁の維持管理

道路メンテナンス事業（橋梁修繕）（担当：建設課建設係）

【予算額】 **7,217万円**（財源：国 4,037万円、市債 1,660万円、一般財源等 1,520万円）

【事業概要】

道路法による 5 年に 1 回の橋梁点検や、点検に基づいた「えびの市橋梁長寿命化修繕計画」により橋梁修繕を行います。

5 河川の維持管理

河川維持事業（担当：建設課維持係）

【予算額】 **1,124 万円**（財源：国支出金 94 万円、一般財源等 1,030 万円）

【事業概要】

侵食が進行した護岸や、洗掘により河床低下した河川の維持工事を実施し、河川の機能保持を図ります。また、河川内に堆積した土砂の浚渫（しゅんせつ）を実施し、洪水時の水位低下を図り、浸水被害を防止します。

基本施策 1 3 安全で安心な水道水の安定供給

2 水道施設及び管路の計画的な更新

【水道事業会計】 **水道施設更新事業**（担当：水道課工務係）

【予算額】 **9,370 万円**（財源：自己財源 9,370 万円）

【事業概要】

安全で安心な水道水を安定的に供給するため、経年化した水道施設の更新事業を行います。

【水道事業会計】 **水道管路更新事業**（担当：水道課工務係）

【予算額】 **5,050 万円**（財源：自己財源 5,050 万円）

【事業概要】

安全で安心な水道水を安定的に供給するため、県・市道改良事業にあわせ、水道本管の更新事業ならびに漏水調査に取り組みます。

基本目標 3 つづける【教育】

基本施策 1 4 学校教育の充実

1 少人数学級事業等きめ細やかな教育の推進

30 人学級事業（担当：学校教育課総務係）

【予算額】 **6,550 万円**（財源：一般財源等 6,550 万円）

【事業概要】

市内小中学校の全学年で 30 人学級編制を行い、少人数指導による一人ひとりに寄り添ったきめ細やかな教育に取り組むため、市費負担臨時教員の任用を行います。

就学支援事業（担当：学校教育課教育係）

【予算額】 **4,943 万円**（財源：県支出金 98 万円、一般財源等 4,845 万円）

【事業概要】

【就学支援事業】 不登校を解消するための相談業務・学習指導等を行う適応指導教室を設置します。また、いじめ、不登校、児童虐待など生徒指導上の問題解決を図るスクールソーシャルワーカーを配置します。

【奨学金貸付事業】 無利子の奨学金等を融資し、大学や専門学校、高校の学費等の負担軽減を図ります。

2 幼保・小・中・高一貫教育の更なる推進

飯野高等学校支援事業（担当：学校教育課教育係）

【予算額】 **1,565 万円**（財源：一般財源等 1,565 万円）

【事業概要】

市内唯一の県立高等学校である飯野高等学校の存続を図るため、奨学金や通学支援金の給付、公営塾の設置など、生徒にとって魅力と活力のある教育環境づくりに寄与します。

市長重点取組事項

一貫教育推進事業（担当：学校教育課教育係）

【予算額】 **1,801 万円**（財源：一般財源等 1,801 万円）

【事業概要】

英語科指導の充実のため、A L T（外国語指導助手）を小中学校をはじめ認定こども園等に派遣するとともに、小学 6 年生及び中学生の英語検定受検料 1 回分を補助します。

また、学力向上や地域に貢献する人材の育成を目指し、小中学校 9 年間での一貫性のある教育や小中学校の乗り入れ授業等の実施、さらに幼児がギャップを感じることなくスムーズに小学校へ入学できるよう、教職員の情報共有や幼児と児童の交流などを行います。



3 教育環境の維持・充実

小学校施設維持補修事業（担当：学校教育課総務係）

【予算額】 **6,616 万円**

（財源：国支出金 1,257 万円、市債 2,330 万円、一般財源等 3,029 万円）

【事業概要】

学校施設の維持管理、経年劣化等に対する修繕を実施するとともに、年次的に、普通教室及び屋内運動場の照明の L E D 化、トイレの洋式化・乾式化の改修工事を実施します。

中学校施設維持補修事業（担当：学校教育課総務係）

【予算額】 **2,149 万円**（財源：一般財源等 2,149 万円）

【事業概要】

学校施設の維持管理、経年劣化等に対する修繕を実施するとともに、年次的に、普通教室及び屋内運動場の照明の L E D 化の改修工事を実施します。

4 安心でおいしい学校給食の提供

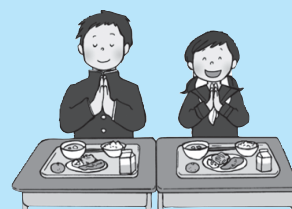
市長重点取組事項

中学生の給食費無償化事業（担当：学校教育課防災食育センター）

【予算額】 **2,167 万円**（財源：一般財源等 2,167 万円）

【事業概要】

重点取組事項「更なる子育て支援」として、保護者の子育てに対する経済的負担を軽減するため、中学生の給食費（1食単価 259 円）の無償化を実施します。



学校給食費緊急支援事業（担当：学校教育課防災食育センター）

【予算額】 **353 万円**（財源：一般財源等 353 万円）

【事業概要】

児童生徒の保護者の負担を増やすことなく学校給食の適切な栄養摂取量を確保するため、食材価格の高騰に伴う学校給食食材費の増額分に対して補助を行います。

基本施策 15 生涯にわたる学びの支援と文化・スポーツの振興

1 社会教育・体育施設の適正管理

文化センター改修事業（担当：社会教育課文化係）

【予算額】 **6,056 万円**（財源：国支出金 5,176、市債 420 万円、一般財源等 460 万円）

【事業概要】

非常用発電機、及び車いす用階段昇降機を設置する工事を行います。

2 生涯学習・青少年健全育成の推進

生涯学習事業（担当：社会教育課社会教育係）

【予算額】 **306 万円**（財源：一般財源等 306 万円）

【事業概要】

学びたい人が学びたい時に学べるよう文化の杜を拠点とした生涯学習推進のため、パソコン講座等各種講座を実施します。

3 芸術文化の振興と文化財の保護と活用

市長重点取組事項

文化振興事業（担当：社会教育課文化係）

【予算額】 **700 万円**（財源：一般財源等 700 万円）

【事業概要】

幼児から中学生までの子どもを対象にした巡回芸術鑑賞事業や宮崎県立劇場と共催する親子向け音楽公演事業、芸術文化協会と共催する市民発表事業など、各世代の人々に楽しんでいただける芸術文化事業を展開します。また、郷土芸能については、活動者の高齢化や担い手不足のために活動の継承が難しくなっていることから、継承の促進を図るために補助金を拡充して支援を行います。



文化財保護管理事業（担当：社会教育課文化係）

【予算額】 **491 万円**（財源：県支出金 41 万円一般財源等 450 万円）

【事業概要】

指定等文化財の保護・活用を図るため、調査や審議を行うほか、国登録有形文化財「享保水路太鼓橋」・「鰐鬚（あいたい）橋」の除草、市指定天然記念物「荒神堂タブ大樹」の治療等文化財の管理を行います。

4 スポーツの振興

大相撲合宿実行委員会補助事業（担当：社会教育課市民体育係）

【予算額】 **289 万円**（財源：一般財源等 289 万円）

【事業概要】

大相撲の合宿を誘致し、稽古見学、企業訪問、イベントの開催など市民と力士が触れ合う事業を実施する実行委員会へ補助します。

基本目標 4 まち【市民協働・行政経営】

基本施策 1 6 市民協働によるまちづくりの推進

1 市民協働の推進

行政提案型協働事業（担当：市民協働課市民協働係）

【予算額】 **100 万円**（財源：一般財源等 100 万円）

【事業概要】

市が提示したテーマに対し、市民団体の発想・企画による行政提案型協働事業を委託により実施します。

ぷらいど 2 1 助成事業（担当：市民協働課市民協働係）

【予算額】 **433 万円**（財源：一般財源等 433 万円）

【事業概要】

ぷらいど 2 1 基金を活用し、いきいきとしたまちづくり活動を行う市民団体に対する助成及び自治会が地域の活性化に結び付けるため主体的に取り組む活動を支援します。

自治会活動支援事業（担当：市民協働課市民協働係）

【予算額】 **616 万円**（財源：一般財源等 616 万円）

【事業概要】

自治会が、地域の活性化と身近な問題解決を図ることを目的として、地域住民が主体となって取り組む体験活動・伝統文化の継承や自治会の学習活動を支援します。

まちづくり協議会支援事業（担当：市民協働課市民協働係）

【予算額】 816 万円（財源：一般財源等 816 万円）

【事業概要】

住民自らが取り組むまちづくりを推進するため、公益的な事業、地域住民の総意により実施するまちづくり事業、協議会の運営に要する経費に対し交付金を交付します。

基本施策 1 7 安心安全の確保

3 防犯対策の推進

防犯灯LED化補助事業（担当：基地・防災対策課基地・防災対策係）

【予算額】 74 万円（財源：一般財源等 74 万円）

【事業概要】

省エネルギー化の推進や電灯料金の軽減を図るため、自治会がおこなう LED 防犯灯の設置や取替えに要する経費に対して補助します。

4 地域防災力の向上

市長重点取組事項

自主防災組織防災訓練等活動事業

（担当：基地・防災対策課基地・防災対策係）

【予算額】 522 万円（財源：一般財源等 522 万円）

【事業概要】

自主防災組織の設立を促進するとともに、防災訓練や資機材整備等に対して支援を行います。また、防災士資格取得にかかる費用を助成するとともに、防災リーダー同士の連携強化を図りながら、地域の防災活動や組織運営を支援します。



基本施策 1 8 市有財産の有効活用

1 市有財産の管理・有効活用

マイクロバス運行业務委託事業（担当：財産管理課管財係）

【予算額】 1,161 万円（財源：一般財源等 1,161 万円）

【事業概要】

市が主催または共催するイベントや各種事業で市民の皆様マイクロバスをご利用いただいておりますが、主に目的地が市外となった場合の運行业務(1台分)を民間のバス事業者へ委託するものです。

基本施策 19 市に関する総合的な企画立案

2 公共交通の維持・確保

市長重点取組事項

地域公共交通対策事業 (担当：企画課政策係)

【予算額】 1,016 万円

(財源：一般財源等 1,016 万円)

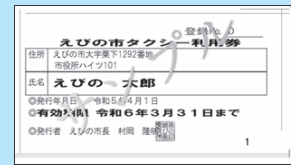
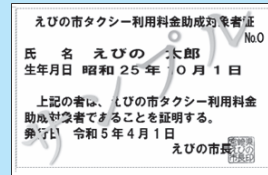
【事業概要】

【タクシー利用料金助成事業】

市内で利用するタクシー料金が約 4 割引き（上限 1,500 円）になるタクシーチケットを月当たり 8 枚交付します。助成の対象となる人は、65 歳以上の人、16～64 歳の運転免許または車両を持っていない人です。

【悠々バス購入費助成事業】

宮崎交通バスの悠々バス（65 歳以上定期券）6 か月定期購入費用の半額を助成します。



3 移住・定住の推進

市長重点取組事項

移住・定住推進事業 (担当：企画課定住対策係)

【予算額】 6,563 万円

(財源：国支出金 1,346 万円、県支出金 632 万円、一般財源等 4,585 万円)

【事業概要】

ワンストップ型の相談窓口である「えびの市移住・定住支援センター」の設置やお試し滞在助成、新婚世帯家賃助成、移住者住宅取得支援などの移住・定住に関する各種支援を実施するとともに、都市部で開催する移住相談会でえびの市の魅力を広く PR し、移住・定住の推進を図ります。また、宮崎県立飯野高等学校の全国枠導入を中心とした教育移住を推進するため、下宿費用の補助や生徒寮への補助を行います。



市長重点取組事項

地域おこし協力隊事業 (担当：企画課定住対策係)

【予算額】 2,353 万円 (財源：一般財源等 2,353 万円)

【事業概要】

地域・教育魅力化コーディネーターを地域おこし協力隊として任用し、飯野高等学校の魅力化、えびの学の再構築の業務を行います。また、前記とは別に地域おこし協力隊を任用し、ふるさと納税業務のほか、本市の豊富な農畜産物や観光などの地域資源を生かして地域に人やお金を呼び込むための地域商社設立に向けて、設立準備から業務を行います。



心のふるさと寄附金推進事業（担当：企画課定住対策係）

【予算額】 9億 6,183万円（一般財源等 9億 6,183万円）

【事業概要】

ふるさと納税サイト取扱民間業者との連携を図るとともに、イベントでのPR活動を行い、寄附件数及び寄附額の増加に努めることで、自主財源の確保につなげるとともに、市のPR強化、地場産品の消費拡大、地域経済の活性化を図ります。

4 デジタル環境の整備

自治体情報システム標準化・共通化事業（担当：企画課情報係）

【予算額】 355万円（財源：国支出金 354万円、一般財源等 1万円）

【事業概要】

【自治体システム標準化移行支援業務委託料】

自治体情報システムの標準化・共通化に伴う標準仕様書と現行業務との比較分析等を行いその影響を確認し円滑なシステム移行を図ります。

基本施策 20 市役所内外の公正・適正維持

1 行政改革の推進

業務量調査 BPR 支援委託料（担当：総務課行政係）

【予算額】 599万円（財源：一般財源等 599万円）

【事業概要】

行政改革を推進し、デジタル時代に対応した効率的な行政運営を図るため、全庁業務の業務量調査及び分析を行います。業務及び業務量を可視化し、RPA 活用による業務効率化やアウトソーシングへ繋げていくために実施します。

BPR: 業務内容や業務の流れ、組織構造などを見直し、再設計すること

RPA: 普段、人がパソコン上で行う定型的な操作作業をソフトウェアで自動化すること

2 人権意識の高揚

人権同和対策事業（担当：総務課人権啓発室）

【予算額】 204万円（財源：一般財源等 204万円）

【事業概要】

同和問題をはじめあらゆる人権問題の差別解消や人権意識の高揚を図るため、啓発活動や学習機会の提供、情報発信等を実施します。

3 人権に関する相談・支援体制の充実

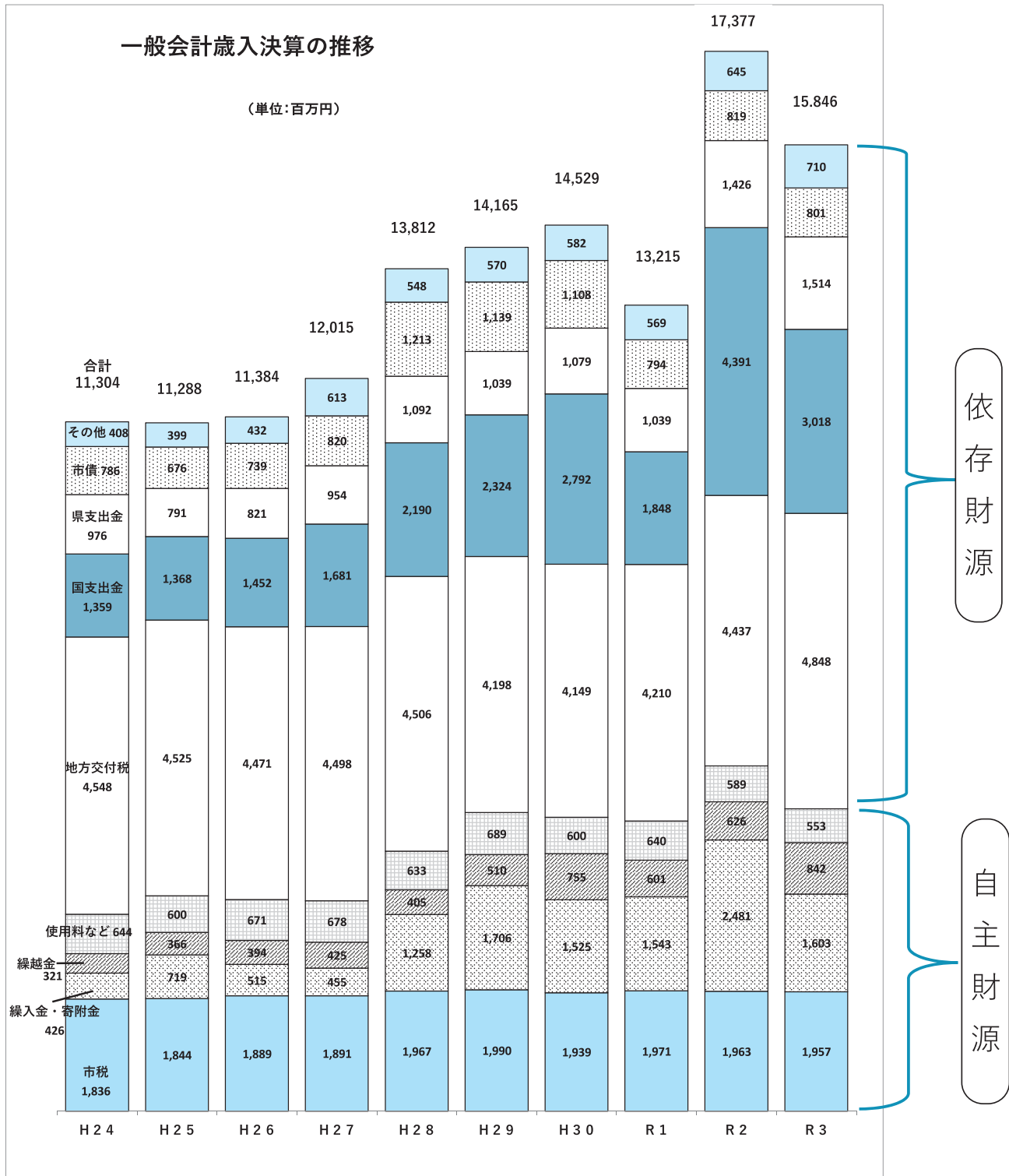
女性相談事業（担当：総務課人権啓発室）

【予算額】 227万円（一般財源等 227万円）

【事業概要】

DV やセクハラをはじめ、女性からの様々な相談に応じ、望ましい解決や自立に向けた支援を実施します。男性の相談にも応じています。

えびの市の財政をデータで見ると



※地方財政状況調査に基づく数値です。

過去10年間の歳入決算額をしてみると、平成26年度から増加傾向にありましたが、令和元年度は、国庫支出金等の減額などの影響で減少しました。令和2年度は、特別定額給付金をはじめとした新型コロナウイルス感染症対策事業のための国・県支出金や地方交付税が増加したことが主な要因となり大幅な増加に転じましたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策関連の歳入が大幅に減少し、前年度と比較すると8.8%減少しました。

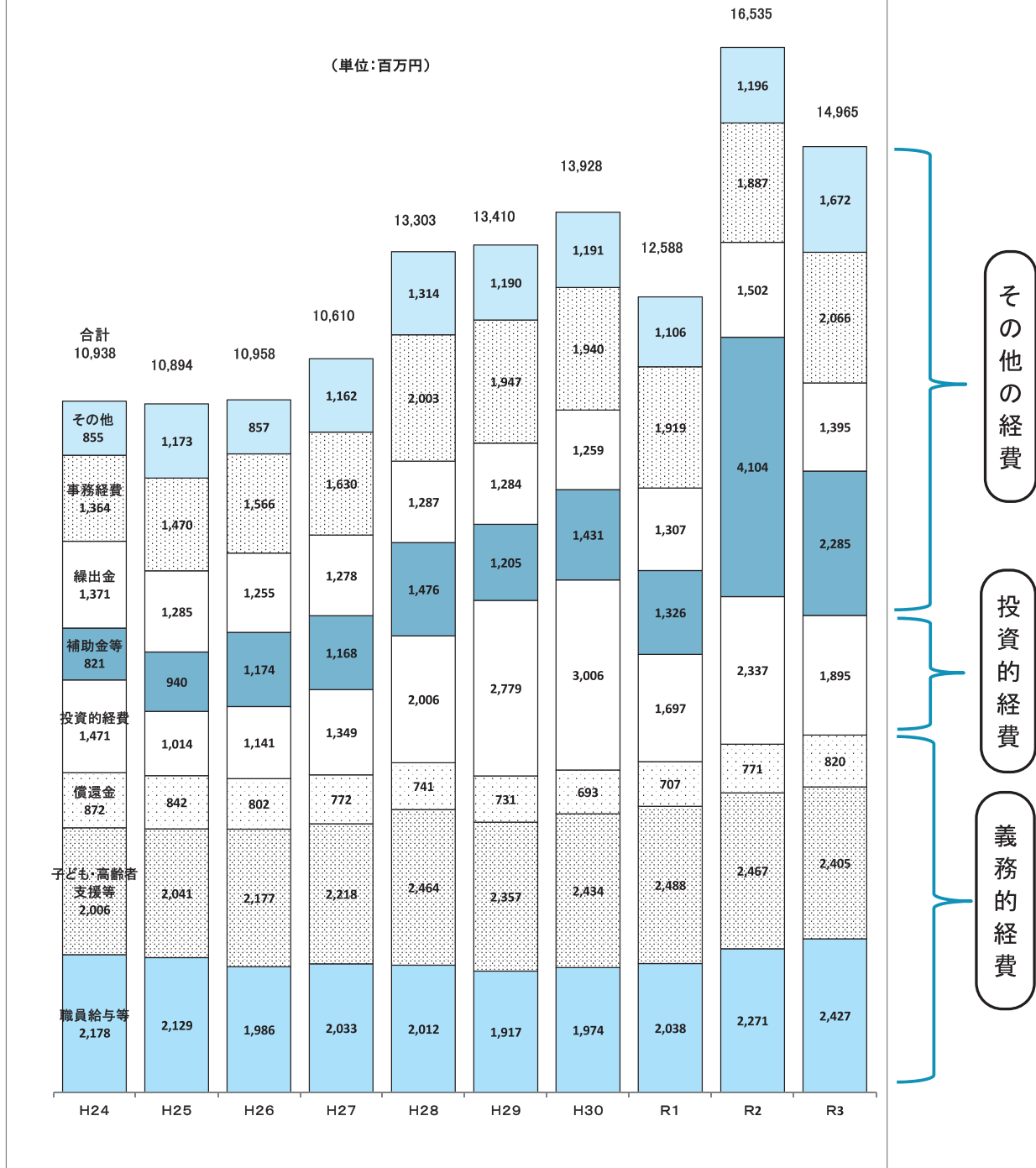
令和3年度のえびの市の歳入は、約158億4,573万円でした。

うち、自主財源比率は全体の31.3%で、平成24年度から令和3年度までの平均は31.7%です。

また、依存財源率は全体の68.7%で、平成24年度から令和3年度までの平均は68.3%です。



一般会計性質別歳出決算の推移



過去10年間の歳出決算額を見てみると、平成26年度から増加傾向にありましたが、令和元年度は、投資的経費の減額などで減少しました。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策事業として特別定額給付金をはじめプレミアム商品券販売事業を行ったことなどにより一時的に補助金等が大幅な増額に転じましたが、令和3年度は同規模の類似事業は行われなかったため補助金等の経費が大幅に減少しました。

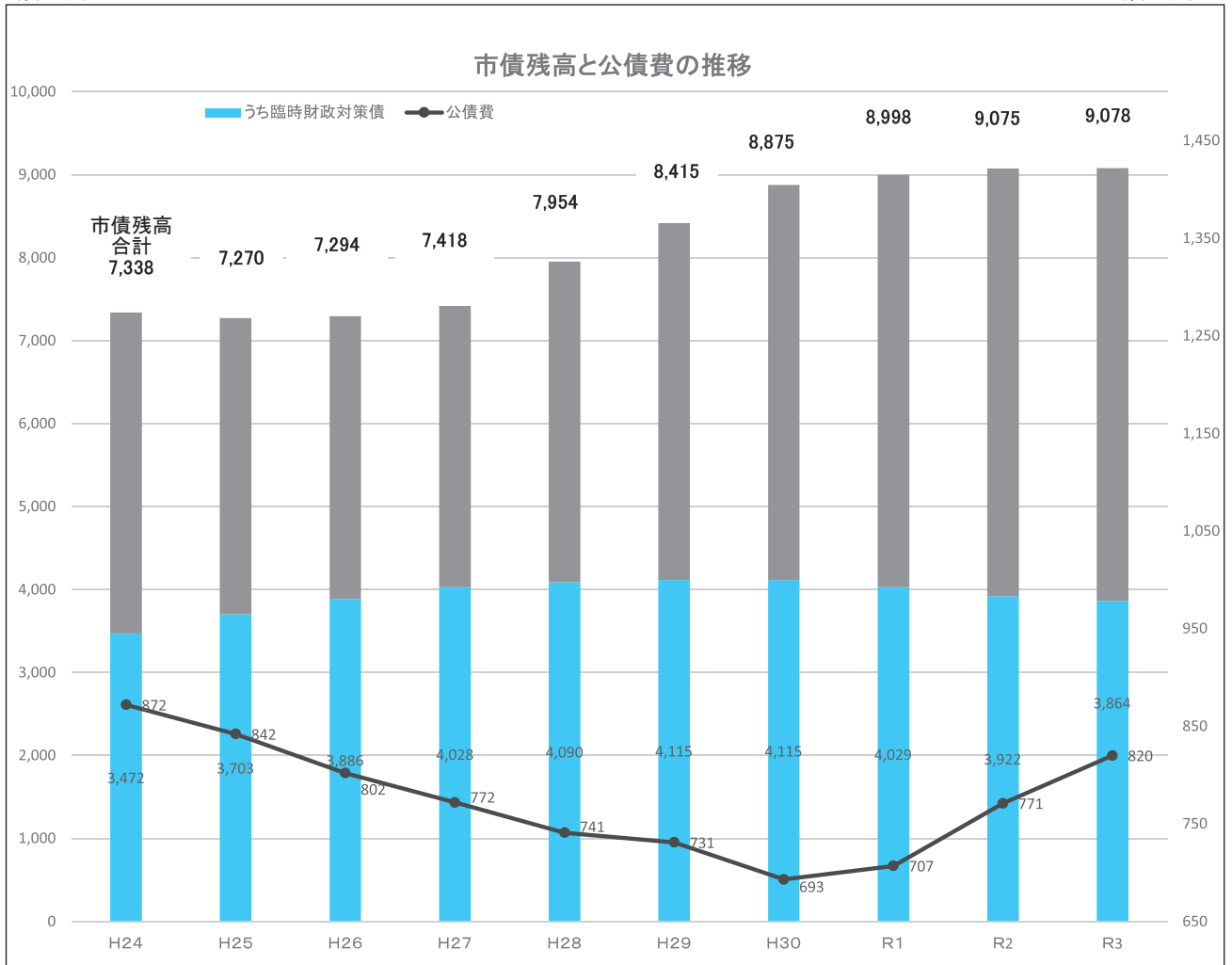


令和3年度のえびの市の歳出は、約149億6,504万円でした。

うち、義務的経費率は全体の37.8%で、平成24年度から令和3年度までの平均は40.7%、投資的経費率は全体の12.7%で、平成24年度から令和3年度までの平均は14.2%、その他の経費率は、全体の49.6%で、平成24年度から令和3年度までの平均は45.1%となります。

市債残高
(百万円)

公債費
(百万円)



- ・市の借金がいくら残っているかを示す「市債現在高」（棒グラフ）は、近年借りた額が大きかったため、増加しています。
- ・臨時財政対策債は市債の一つですが、償還に要する費用は後年度の普通交付税で措置（交付）されるものです。
- ・借金の返済額を示す「公債費」（折れ線グラフ）は、過去に借りた分の返済が始まったため、増加しました。

市債は、学校や公園、道路の整備・改修など、市が多額の費用を一時に必要とする場合に、財源を確保するため、また、施設等を利用する将来の市民との間で負担の公平化を図るために借り入れた負債になります。将来世代への負担が大きくなるように、行政サービスの質の維持向上を図りながら今後も健全な財政運営に努めます。



facebook QRコード



LINE公式アカウントQRコード



発行／えびの市

編集／財政課

〒889-4292 えびの市大字栗下1292番地

電話 0984-35-1111

FAX 0984-35-0401

Eメールアドレス zaisei@city.ebino.lg.jp

ホームページアドレス <https://www.city.ebino.lg.jp/>

